# 令和8年度 特色選抜 合否判定基準

## 県立那覇高等学校

#### 1 募集人員

普通科の募集定員(400名)の25%以内(100名以内)で、本校校長が定める。ただし、通学区外は10%以内(10名以内)。

## 2 出願要件

- (1) 3カ年、無届けの欠席がないもの。
- (2) 1年から3年までのすべての教科の評定平均が4.0以上のもの。 〈算出方法〉 評定平均= (1年~3年までのすべての教科の評定の合計) ÷27 (小数第2位を四捨五入)

#### 3 選抜方法

選抜は、学力検査、調査書、実績を証明する資料、面接に基づき特色選抜入学予定者を決定する。ただし、学力検査の成績については一般選抜の学力検査(各教科配点 60 点)のうち、思考力を問う記述式問題以外の得点(各教科配点 50 点)を成績として取扱うものとする。

### 4 判定方法

- (1) 圏の設定
  - ア A 圏は、特色選抜募集人員の80%程度とする。
  - イ B圏は、特色選抜募集人員の110%程度とし、A圏の者を除く。
  - ウ C圏は、特色選抜全志願者からA圏、B圏の者を除く。

#### (2) 判定手順

- ア A圏の者を審議する。
- イC圏の者を審議する。
- ウ B圏の者を審議する。
- エ 学区外の志願者については、募集定員の10%(10名)を超えないように合格者を決める。

### 5 実績に関するランク表について

本校ホームページ「高校入試情報」のページに掲載しておりますのでそちらを参照してください。

# 令和8年度 一般選抜 合否判定基準

## 県立那覇高等学校

## 1 募集人員

募集定員(400名)から特色選抜合格者を差し引いた人員。

- ※1 通学区域外許容人員=400名の10%以内(40名以内)
- ※2 一般選抜における通学区域外からの合格者許容人員 =40名- (特色選抜合格者に占める通学区域外人員〔最大 10名〕)

#### 2 選抜方法

- (1)選抜は、出身中学校長から提出された調査書、その他必要な書類、学力検査等の成績及び面接の結果を基に行う。
- (2)調査書と学力検査等の成績の比重は「調査書:学力検査=4.5:5.5」とする。

#### 3 判定方法

- (1) 圏の設定
  - ア A 圏は、特色選抜募集人員の80%程度とする。
  - イ B圏は、特色選抜募集人員の110%程度とし、A圏の者を除く。
  - ウ C圏は、特色選抜全志願者からA圏、B圏の者を除く。

### (2) 判定手順

- ア A圏の者を審議する。
- イC圏の者を審議する。
- ウ B圏の者を審議する。
- エ 学区外の志願者については、上記「1募集人員 ※2」の数を超えないように合格者を決める。